

学校教育目標

良き伝統の中に流れる『友愛』の絆を大切にした
心広くおおらかな児童の育成

やさしく

- 場に応じたあいさつができる子
- 互いの良さを認め合い、思いやりある行動がとれる子

かしこく

- わかるまで考え、学び合う子
- 自分の考えをもって、話をよく聴く子

かがやく子

たくましく

- 目標をもって進んで運動する子
- 自分の安全と健康を守れる子

研究主題

互いを高め合い、認め合うことのできる児童の育成
～小中9年間の学びと育ちの連続性を重視した教育～

中2～中3

友達の考えを聞き、自分の考えを見つめ直し、人間としての生き方や在り方について考えを深めることのできる

小5～中1

友達の話を聞き、自分の考えと比べ、考えを深めることのできる児童・生徒

小1～小4

友達の話を聞き、よさを見つけることのできる児童

仮説1

二分法等を使い議論する道徳科の授業を行っていけば、一人一人が進んで自分の考えを発表し、より考えを深めることができるであろう。

授業研究部

仮説2

視覚的に役立つ教材を取り入れることで、より効果的に友達に考えを伝えたり、友達の考えを認めたりすることができるであろう。

環境部

仮説3

小中学校が連携して児童・生徒の実態に応じた取組を行っていけば、9年間継続して道徳的実践力を高めることができるであろう。

連携・調査部